

第149期ご報告

2013年4月1日～2014年3月31日

Nitto

NEWS
FLASH

高崎秀雄が新代表取締役 取締役社長 CEO・COOに就任 創業100周年、 更にその先の持続的成長へ

2014年4月1日付で、代表取締役 取締役社長の柳楽幸雄が代表取締役 取締役会長に、取締役 専務執行役員の高崎秀雄が代表取締役 取締役社長 CEO・COOに就任し、Nitroグループの新たな経営体制がスタートしました。

Nittoグループは、中間材料メーカーとして変化する市場環境の動きをいち早くキャッチしながら、自ら変革を遂げることで世界中のお客様に様々なソリューションを提供してきました。現在では、約70の業界に13,500の製品を提供しています。

近年はグローバル化のセカンドステージにおける取り組みとして、中国をはじめ、インド、ブラジル、トルコ等新興国を中心に拠点を整備してきました。また、グローバル市場での更なる成長のため、「日東電工」の呼称を“Nitro”とし、ブランド

マークを刷新しました。事業戦略に加え、ブランド戦略を強化して確固たるブランドを確立することを目指します。

このように世界で戦える準備を整え、今後グローバル化のセカンドステージにおいて世界の市場で存在感を示すNitroグループに進化させていくため、高崎が経営を担うこととなりました。

Nittoグループは2018年に100周年を迎えますが、新体制のもとグループ一丸となって、社会から信頼され未来に向かって成長し続ける100年企業の実現を目指します。

株主のみなさまにおかれましては、従来同様ご支援ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

TOP
MESSAGE

株主のみなさまにおかれましては、日ごろからのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

Nittoグループでは、2013年度を「越える年」として、一人ひとりがこれまで世界で戦う実力を身につけることに取り組みました。

2014年度は「翔(か)ける年」と位置付けています。駿馬(しゅんめ)のように、俊敏に力強く翔けるべく、更なるグローバル化を図っていきます。

2013年度業績について

ブランド刷新による知名度や認知度の拡大、本社と大阪支店の移転統合による業務効率の向上、更に全グループ従業員が持つべき共通の価値観や行動基準をわかりやすく示した新たな経営理念を制定するなど、2018年の100周年に向け企業価値をグローバルに発展させるための活動を行いました。

主力のエレクトロニクス業界では、スマートフォンやタブレット端末市場の成長に対し新製品の投入やタッチパネル用材料の生産能力増強などを図りました。自動車業界では生産台数の伸びを逃さずとらえ、既存顧客の採用材料の拡大や新規顧客の開拓をグローバルに行いました。この動きに呼応し、設備投資においては、過去最高となる758億円を投資しました。

以上の結果、売上高は7,498億円(前年比11.7%増)、営業利益は722億円(同5.5%増)、経常利益は716億円(同6.7%増)、当期純利益は510億円(同16.8%増)となりました。

2014年度の取り組み

インダストリアルテープにおいては、自動車業界向け製品は、南アジアや中南米をはじめとした成長市場を確実に取り込み、グローバル展開を強化します。エレクトロニクス業界向け製品では新興国を中心に需要拡大が見込まれます。

オプトロニクスにおいては、スマートフォンやタブレットPC市場での低コスト化が進むものの、継続して伸長する見通しです。2013年度からタッチパネル用材料の生産設備増強を進めてきましたが、その生産能力を生かし、市場のニーズに合った新製品を投入していきます。

メディカル&メンブレンにおいては、対象市場での競争が激化する中で、事業基盤の強化と並行して新分野への取り組みを進めることで、事業拡大を図っていきます。

以上により業績見通しは、売上高7,800億円、営業利益780億円、税引前利益780億円、当期利益570億円を計画しています。

これは、2014年度より国際会計基準(IFRS)を任意適用することを決定したため、IFRSに基づいて算出した数値となっております。この業績見通しは、為替レート1米ドル=100円を前提としております。

配当金について

ものづくりをするメーカーとして、急速な技術革新への対応と顧客ニーズにタイムリーに応えるための研究・開発、生産に関する積極的な先行投資などの必要性、そして財務状況、利益水準、配当性向等を総合的に勘案して実施します。

2013年度は、期末配当を1株につき50円、年間配当は100円と、2012年度と同額とさせていただきます。なお、2014年度につきましては利益状況と設備投資等を総合的に勘案して、年間100円を予定しています。

Nittoグループは2018年に創立100周年を迎えますが、成長し続ける企業であるために変化を恐れずに、更なる発展を目指します。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

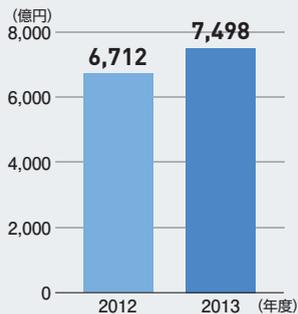
代表取締役 取締役社長
CEO・COO

高崎 秀雄

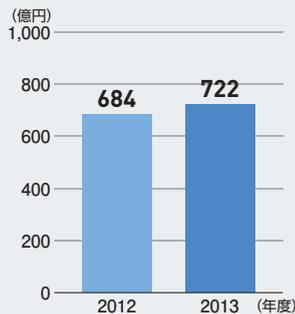


業績ハイライト

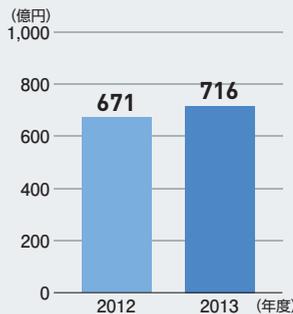
売上高



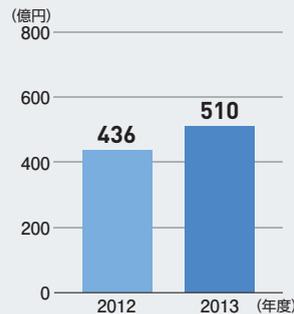
営業利益



経常利益



当期純利益



海外売上高比率

73.7%

2013年度実績

海外売上高 **5,523**億円
国内売上高 **1,975**億円

自己資本比率

67.0%

2013年度実績

自己資本 **5,233**億円
総資産 **7,813**億円

1株あたり配当金



ポイント

- 1 スマートフォンやタブレットPC市場の成長に対応する新製品の投入や海外における自動車部材の受注拡大により増収増益となりました。
- 2 海外売上高比率は、アジアおよび北米での売上が増加し、前年度比1.9ポイント増となりました。
- 3 配当は2012年度と同額の年100円といたしました。2014年度は2013年度と同額の年100円を予定しています。

製品関連トピックス

世界初のβ(ベータ)1遮断薬経皮吸収型・高血圧治療剤「ビソノ®テープ」発売

高血圧症の治療薬には大きく分けて5種類の薬があり、その中でも「β遮断薬」は、心臓の過剰な働きを緩やかにして血圧を下げる薬で、特に心臓疾患を合併した患者様に使用されています。これまで、この「β遮断薬」を粘着剤の中に入れて、皮膚から薬物を取り込む「経皮吸収型製剤」にすることは薬物の性質上、技術的に困難だといわれてきました。

Nittoグループではトーアエイヨー株式会社様と共同で長期にわたり開発を進め、2013年9月10日に世界初のβ1遮断薬経皮吸収型・高血圧治療剤「ビソノ®テープ」が発売されました。

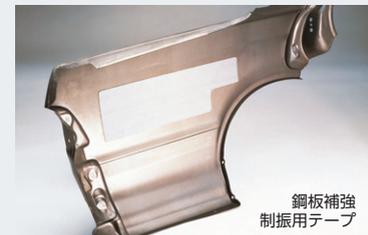


※「ビソノ®」はトーアエイヨー株式会社様の登録商標です。

自動車用材料で軽量化に貢献する製品を開発

近年の環境意識の高まりから、自動車には更なる燃費改善が求められており、部品においては小型軽量化のニーズが高まっています。Nittoグループでも自動車用材料で軽量化に貢献する製品の開発を進めています。

例えば、自動車内の電源や信号をつなぐため、あらゆるところで使用されるワイヤーハーネス（電線）用結束テープでは、従来の厚みを薄くすることで、車の重量を軽量化することに貢献しています。また、車体の素材においては、軽量化のためアルミ等の使用増加が予想されますが、従来の鋼板補強制振用テープに加え、アルミ等に対応できる同様のテープ開発に成功しました。





新社長インタビュー
TOP INTERVIEW

グローバルに成長し続ける100年企業を目指して

Q1 新社長に就任された抱負をお聞かせください。

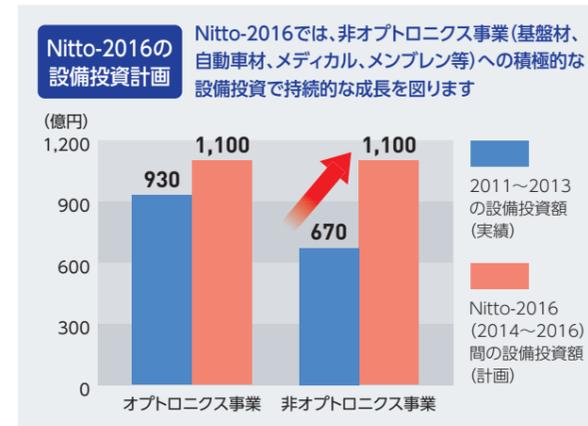
A1 Nittoグループは2018年に100周年を迎える企業ですが、決して順風満帆に今日の姿を築いてきたわけではありません。過去、様々なピンチに打ち勝ち、そして、チャレンジをし続けてきた諸先輩方やグループ社員の努力とその成果の結果として今日があると考えています。取締役社長 CEO・COOは重責ですが、100年企業に向けて持続的な成長を続けるために、これまでの経営や事業戦略を踏襲しつつ、世界の市場で存在感を示す

Nittoグループに進化させるべく全力で取り組む所存です。そのためには健全でバランスのとれた事業構造を更に進化させていく必要があります。既存事業の成長と拡大とともに、中国、インド、ブラジルをはじめとした新興国や、グリーン(環境関連)、クリーン(新エネルギー関連)、ファイン(ライフサイエンス関連)の新たな事業領域で、将来の核となる新しい事業の創造・育成に重点的に取り組みます。

Q2 中期経営計画「Nitto-2016」についてお聞かせください。

A2 このたび新たに策定した中期経営計画「Nitto-2016」では、最終年度の2016年度には、売上高9,200億円、営業利益1,000億円を計画し、新たな挑戦を開始します。

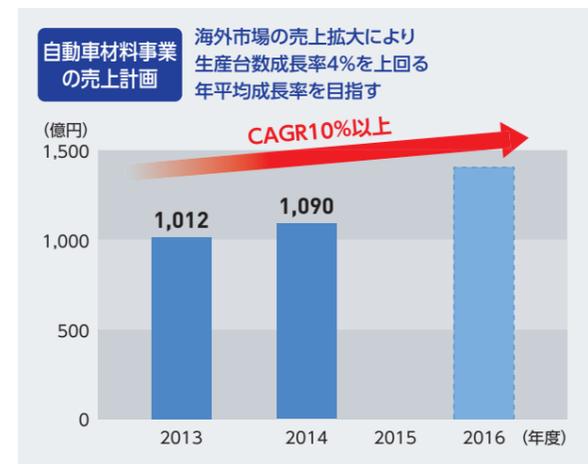
Nitto-2016では、基本コンセプトとして「構造改革と成長戦略で未来に向かって翔ける」を掲げました。変化する環境にいち早く適応するための「構造改革」、新たな事業を創出し、足腰の強い事業構造に進化させるための「成長戦略」を同時に実行していきます。このために「事業の成長」「質の向上」「人財の成長」の3つの経営課題に、引き続き取り組みます。



Q3 3つの経営課題の中で、特に「事業の成長」についてお聞かせください。

A3 これまで業績をけん引してきた情報機能材料事業ですが、今後は新興国が市場の中心となり低コスト化が進むと予想されます。光学フィルムやタッチパネル用材料で獲得した高いシェアを生かし、今後も市場動向を見極め、ニーズに合った製品を投入していきます。

今後特に期待するのが自動車材料事業です。Nittoグループは、機能部材を業界サプライチェーン全体にグローバルに提供できるのが強みです。2008年以降、NVH製品(自動車の安全性や快適性を向上する製品)の海外一貫生産工場・加工拠点を順次立ち上げ、グローバルに現地供給できる体制を整えてきました。まずはNVH製品などの需要をグローバルで取り込み、今後はハイブリッド車や電気自動車などの次世代車のカーエレクトロ



ニクス材料の成長市場で利益を上げていきたいと考えています。自動車材料事業の売上計画は、海外市場での売上拡大により、年平均成長率10%以上と、自動車生産台数の成長率4%を大きく上回る成長率を計画しています。

また基盤機能材料事業では、2013年5月に中国・青島市で防食関連材料の合併会社を設立し、今年度より防食テープの生産販売を開始します。今後、地下鉄用の防水テープやPM2.5対策の防塵材料など、防食製品から社会インフラ設備を守る製品全般へと総合的な展開を計画しています。



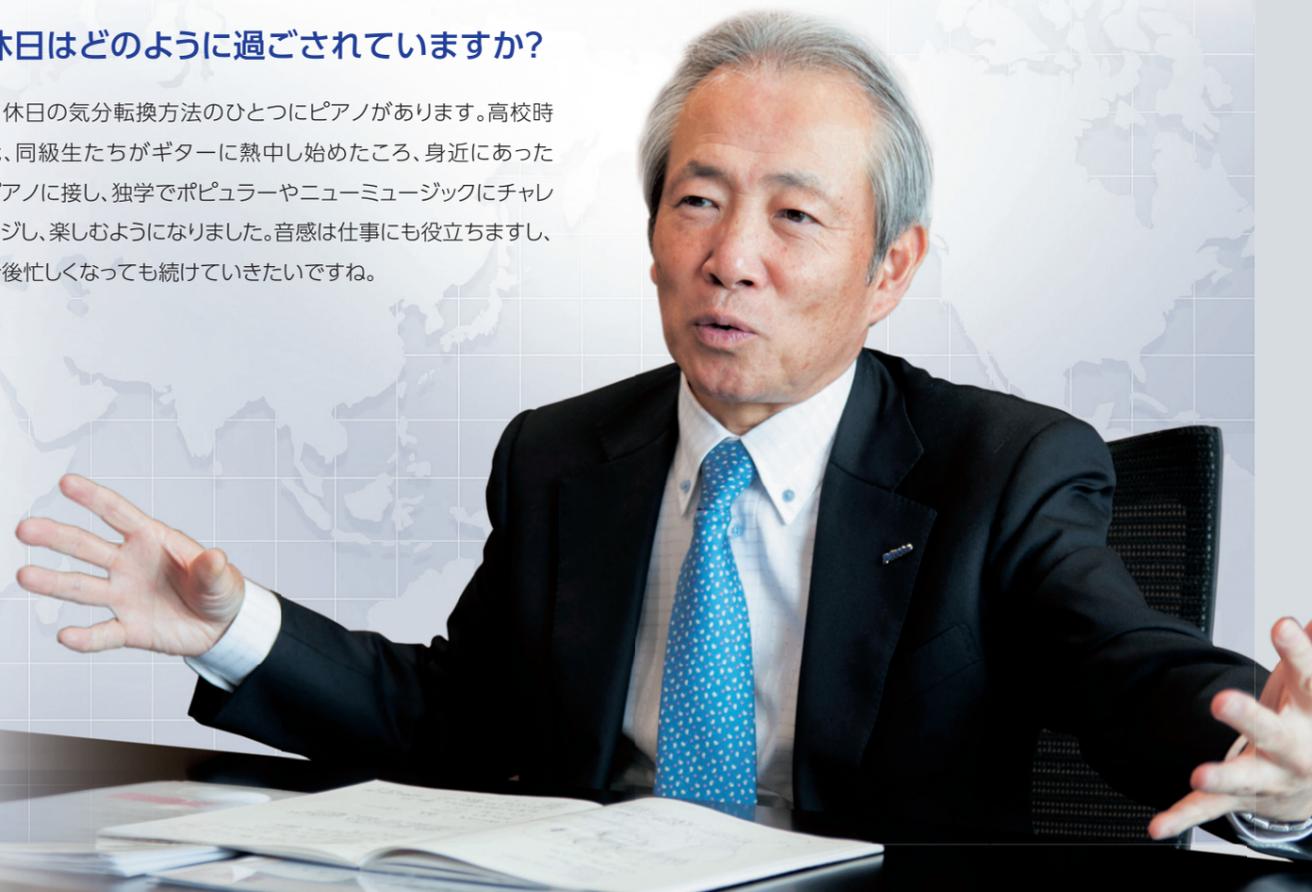
Q4 高崎社長の目指すNittoグループの未来像をお聞かせください。

A4 私は、これまで様々な事業や海外でのエリア経営を経験してきました。その経験や身につけてきた視点を生かし、Nittoグループを100年企業、更にその先を展望し、「社会、そしてお客様より信頼され、世界中の従業員が情熱を持ち、スマイルで満ちたNittoグループ」にしたいと考えています。

「スマイル」は、欧州に駐在しているときに学んだことですが、笑顔で人と接すると、会話につながり、良いコミュニケーションができるのです。情熱を持ち、スマイルで一人ひとりが実行すれば、新たなNittoグループに変わることができると思っています。

Q5 休日はどう過ごされていますか？

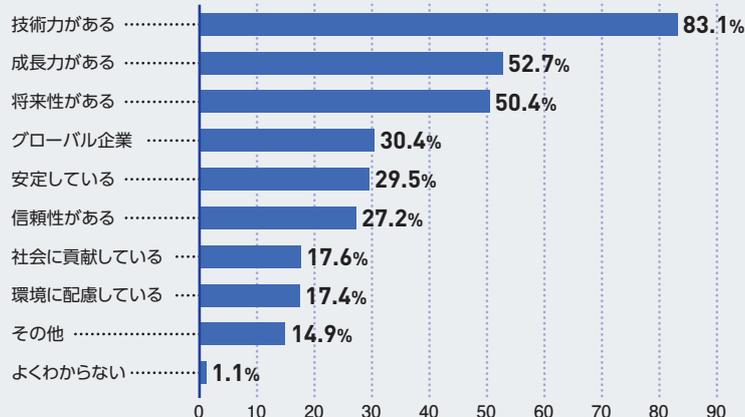
A5 休日の気分転換方法のひとつにピアノがあります。高校時代、同級生たちがギターに熱中し始めたころ、身近にあったピアノに接し、独学でポピュラーやニューミュージックにチャレンジし、楽しむようになりました。音感は仕事にも役立ちますし、今後忙しくなっても続けていきたいですね。



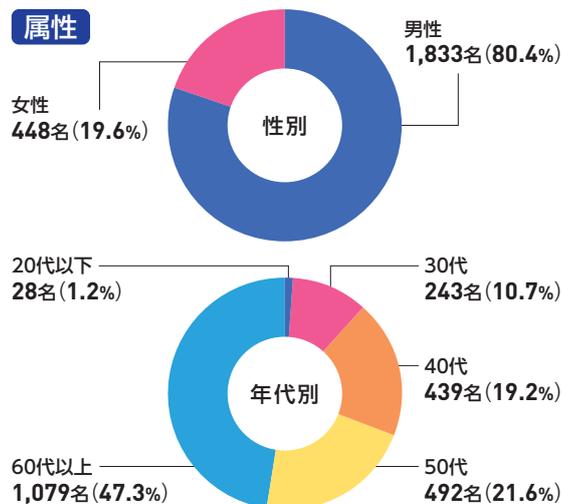
アンケート結果報告

2013年11月に実施いたしました株主アンケートに、2,281名の方より回答をいただきました。
御礼を申し上げますとともに、結果の一部をご報告させていただきます。

● 当社の企業イメージについてお聞かせください。



属性



● ご質問やご要望もいただきました。

会社の認知度向上に一層取り組んで欲しい。

グローバルに認知度向上を目指すため、2013年10月に呼称を「日東電工」から「Nitto」とし、ブランドマークを刷新しました。この視認性の高いマークのもと、DENKO(電工)というイメージにとらわれず、事業領域を更に拡大してブランド力を高めます。

国内の個人投資家様に向けては、証券会社での会社説明会の積極的な開催やWebサイトのリニューアル等、情報発信の強化充実に努めています。今後とも地道に取り組む所存ですので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

新規技術開発や特許についての考え方を教えてください。

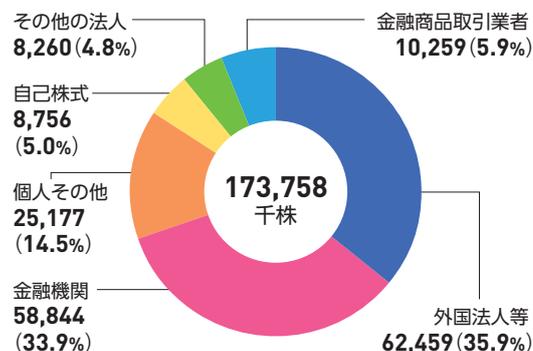
Nittoグループでは、新しい技術を身につけるため、常に売上高の4%前後を研究開発に投資しています。特許は、出願件数だけでなく、戦略的・計画的に出願することで事業への貢献を高めています。このような取り組みが評価され、2011年から2013年の3年連続で「トムソン・ロイターTop100グローバル・イノベーション・アワード」を受賞しました。

■ 株式の状況 (2014年3月31日現在)

発行済株式の総数 173,758千株
株主数 55,009名

所有者別分布状況

(単位：千株)



■ 株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)
定時株主総会 6月
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話:0120-094-777(通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto

日東電工株式会社 〒530-0011 大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪 タワーA 33階

UD
FONT
by MORISAWA